

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

ダイキョーニシカワ株式会社 本社工場

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市寺家産業団地5番1号

(3) 業種

輸送機械器具用プラスチック製品製造業(1832)

2 計画の期間

本計画に期間は、令和5（2023）年度を基準年度とし、令和6（2024）年度から令和10（2028）年度までの5年間とする

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))					
	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量								
実績に対する 自己評価								

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 売上高

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	令和5年度 (2023)	令和10年度 (2028)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)
エネルギー 起源CO ₂	0.78	0.74	0.69				
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	0.78	0.74	0.69				
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)	0.35	0.33	0.32				
実績に対する 自己評価	工場屋根に太陽発電設備を導入したことで良化傾向となります。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	買電電力量削減	買電量の10%以上の削減	太陽光発電設備を設置
2	電気使用量の削減	原単位 1 %/対前年	・空調設定温度の適正管理 ・冷却水設定温度の適正管理 ・昼休憩中及び作業終了工程の照明消灯
3	燃料使用量の削減	原単位 1 %/対前年	・ボイラー復水放熱ロス対策と再利用 ・設備稼働に合わせたボイラー運転
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1	なし	
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	廃棄物削減とリサイクル化	埋立て廃棄物の10%削減	・廃棄物の分別とリサイクル
2	環境保全活動の実施	実施率100%	事業所周辺(1回/月) と地域公共場所の清掃実施(随時)
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。